

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	公共交通対策特別委員会		会議場所 第3委員会室
			担当職員 阿久根由美子
日 時	平成25年11月29日(金曜日)		開 議 午前 10 時 00 分
			閉 議 午前 11 時 00 分
出席委員	石野 ○立花 井上 福井 堤 中澤		
執行機関出席者	—		
傍聴者	市民0名	報道関係者 0名	議員0名

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

〔石野委員長 開議〕

〔事務局 日程説明〕

2 議題

(1) 提言案について

<石野委員長>

正副委員長案を作成した。本日決定し、12月4日の議会運営委員会で諮りたいと思う。

1 基本路線の設定

4 デマンド交通

<中澤委員>

1と4は連動するので、補完はデマンドにつながる。順序を入れ替える(4を2に)のがよい。

<立花副委員長>

1と4で離れていても、まずは基本路線から入っており、順序はこのままでよい。

<中澤委員>

補完の意味は。デマンドを指すのではないのか。

<立花副委員長>

補完はアクセスの意味でデマンドも含まれる。

<事務局>

議論の中では、コミュニティバスも補完に含まれていた。

<堤委員>

今回は計画という大きな意味での提言であり、執行部に趣旨を理解されればよいと思う。バスアクセスの切れ目などを補完することも含まれる。

<石野委員長>

4 デマンドについてはどうか。

<福井委員>

根本的にこれでよいと思うが、地域性を先にすればよい。デマンドありきではない。基本路線の補完できないところを、地域性を考えてデマンドの検討もという意味なので、2にするのもよいと思う。

<井上委員>

ふるさとバスを運行し、そのうえデマンドも運行となれば相当の経費が必要である。そうではなくデマンドが適しているかを検討という意味であり、執行部にそう伝えればよい。

<事務局>

1の文言は原案のままでよいのか。(全員 了)

<堤委員>

この提言では、1と4が大事である。4は2にするべき。

<石野委員長>

デマンドは2にする。(全員 了)

<福井委員>

「地域性を踏まえ」は「地域性を考慮したうえ」とすればよい。

<井上委員>

「地域の実情に合った」とすればよい。

<堤委員>

市民に分かりやすくは大切だが、執行部の理解はより大切。趣旨を正副委員長から伝えれば、原案のままでよい。

<石野委員長>

「地域性を」先に、言葉は原案のままとなるとどうなるのか。

<事務局>

「地域性を踏まえ、デマンド交通(タクシー)運行について実施に向けた検討を行うこと。」となる。

(全員 了)

2 ふるさとバス

<中澤委員>

「曜日による差別化」は分かりづらい。「運行本数」とすればよい。

<福井委員>

差別化は便数や行先変更も含まれる。

<事務局>

議論により路線も含まれる。

<立花副委員長>

議会報告会でバス停、運行時間の要望があった。利用目的は観光なども含んでいる。具体的な文言を入れればよい。車両の小型化はふるさとバスだけか。

<事務局>

ここではふるさとバスだけを指している。

<中澤委員>

「柔軟な運行形態を検討」と入れてはどうか。

<堤委員>

具体的な言葉を入れると分かりづらくなる。原案のままでよいと思う。

<立花副委員長>

「利用の潜在調査」には「買い物、通学、通院など」を入れればよい。

<中澤委員>

具体的な言葉はなくてもよい。

<井上委員>

「差別化」という言葉は低くみられているようでよくない。車両の小型化は何を指すのか。

<事務局>

以前の議論でワゴンという意見もあった。

<堤委員>

10人乗りのワゴンならもっと運行がきめ細かくできる。

<事務局>

意見を反映すると、

「ふるさとバスの運行については、今後も運行の要望調査及び利用（買い物、通勤通学、通院など）の潜在調査を行い、利用目的、曜日による運行や車両の小型化など柔軟な運行形態を検討し、利用促進及び効率化を目指した運行を検討すること。」となる。

（全員 了）

3 人口密集地域の運行

<立花副委員長>

意見では北古世西川線を入れていたが開通していないので路線名は入れずに原案のままでよい。

（全員 了）

5 運行の検証

<石野委員長>

意見なければ原案とする。

（全員 了）

6 運賃

<福井委員>

地元要望で運行したら、通常200円が500円ということなのか。

<中澤委員>

地域性によって運賃の設定をすればどうか。「受益者負担は」削除した方がよい。地元要望で運行させ、それを持続するには地元に負担願うことも検討するべき。

<堤委員>

ここでは、「特に地域要望により」としている。地元要望なら地元も利用が増えるよう考えてもらうことは必要だと思う。

<中澤委員>

持続するには、地元も積極的に取り組んでもらいたい。

<立花副委員長>

運行持続にはルールが必要ということになる。5で述べているので、5に6の「また、特に～」をつなげばよい。

<中澤委員>

周辺部を中心に考えている。持続できる努力が必要である。

<石野委員長>

6と5をつなげることはどうか。

<井上委員>

「受益者負担」は敏感に反応される人もいる、不要である。6は5につなげばよい。

<事務局>

「公共交通の運行に関しては、採算性や利用状況について基準を設定し、一定運行期間が経過した後、基準に照らし検証を行ったうえで継続を検討すること。また、特に地域要望により運行する場合には、運行の持続のため利用者負担とともに地域での利用増加につながる取組みを促すこと。」となる。

(全員 了)

7 公共交通利用の施策・事業

(全員 了)

8 収入確保

<堤委員>

「積極的」を入れるべき。

<事務局>

「バス車内の広告や放送、バス停広告及びバスラッピングなど積極的な運賃以外の収入確保に努めること。」となる。

(全員 了)

3 その他

次回委員会 12月18日10時～

執行部に計画について説明願う。

散会 ～ 11:00